

しただの郷学園（長沢小学校）懇談会

令和7年5月21日（水）午後7時から

【主な意見等】

- 統廃合の時期について令和10年4月と書いてあるが駆け足ではないか。
また、この資料を見る限り、既存の校舎を活用して一つに統合するのか。
→ 最終的には統廃合準備委員会で決める事ではあるが、現時点で新校舎を作る事は計画していない。
- 下田地域に住みたいと思う地域にして欲しい。人口が減る一方であるためその対策と統廃合とを合わせて市と一緒に考えてもらいたい。
→ 下田地域のみならず三条市全体で少子化対策や子育て政策を引き続き進めなければならない。下田地域では、移住促進住宅として古民家を改修し、市外の方に住んでいただく取組みを既に進めている。また、来年・再来年には八十里越が開通する機会もしっかりとつかみ、下田地域に住んでいただく事を皆さんと一緒に進めていきたい。
- 新しい学校を作らないならば、下田中学校や長沢小学校など、どこかの学校に入るのか。検討はこれからだと思うが、どこの学校にするかでかなり揉めると思う。
また、複式学級を解消するためと言うが、笹岡小学校や大浦小学校はかなり前から複式学級である。令和10年を待たずに解消できないものか。ひとまずどこかの学校と一緒に成れないか。また、人口を増やすと言っても、市長も努力していると思うがなかなか難しいと思う。
→ 校舎については、最終的には統廃合準備委員会が決定する。現時点の想定人数を前提とすると、令和10年4月の段階で、小学校と中学校の全9学年を今の下田中学校の校舎と一緒にすることは収容能力的に難しい。それを踏まえて、統合時の校舎をどうするのかは議論をする必要がある。
→ 複式学級の速やかな解消については、ご指摘のとおり。複式学級を速やかに解消し、子ども達に適正な規模の中で学習環境を提供する事は必要である。しただの郷学園では小中一貫教育の中で、トリオ校やペア校活動で合同作業を行うなど、できる限り関わり合う活動を既に行っている。「既に複式学級があ

る学校だけでも令和 10 年を待たずに早く」とのお考えだが、子どもの心の安定感を考えた時に小学校の時に 2 回も統合を体験するのは不安定要素が残ると思う。ここはカリキュラムの工夫で、できるだけ既存の複式学級の子ども達にも負担のない形をとり、統廃合は早くて令和 10 年 4 月であると考えている。

- 令和 10 年 4 月に統廃合した学校が開校すると、令和 8 年に小学校 1 年生の子どもは令和 10 年に小学校 3 年生であるが、それまでの学校の体操着や物品は、新しい学校になるとどうなるのか。

また、クマや不審者も出ているのでバス通学になるのは安心だが、歩いていたのがバス通学になると、体力面の方が心配である。

- ご指摘のとおりである。7 ページに列挙してあるようなことを、1 つ 1 つ丁寧に議論を重ねることが必要と考えている。また、家計への不安も考えていかなければならない。統廃合準備委員会を速やかに立ち上げ、丁寧に議論を進めていきたい。
- これまでの三条市の例の場合、統廃合後も体操着や教材は新たに購入をせず、今まで使っていたものを卒業するまで使用していただいた。今回も同じように扱う予定。保護者の負担を軽減したいと考えている。

- 適正規模・適正配置に関する基本方針で「クラス替え可能で」となっており、全学年 2 クラスを目指していると思う。我が家は令和 10 年に 6 年生となる。統廃合すると 40 人になる。今まで 12 人でやってきたのが、6 年生になって 2 クラスになり、クラスが分かれることは子どもたちにとって残念なところもある。40 人でも 1 クラスにできるのか。

- 公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律では、小学校は 1 クラス 35 人以内と定められているので、40 人だと 2 クラスになる。それまでの学校の同級生が全て同じクラスにはならず分かれてしまうことになると思うが、新しい友達を増やし、学年での活動も沢山ある中、更に子ども達の力を伸ばしていける環境を整えていきたいと考えている。

- 子ども達にはどのように説明をし、どのように子ども達の準備を進めるのか。

- 今後の過程として、統廃合準備委員会でどの形が望ましいのか、また、より魅力ある学校にするにはどうしたら良いのかなど議論をしてから、市議会によ

り学校の設置条例を制定していただくことになる。そのような過程において、しかるべき時に、子ども達にどのように伝えれば良いか各学校の校長先生と相談しながら、発達段階に応じた形で子ども達に説明を行っていく。

○ どこかの小学校を活用するとのことだが、各小学校の避難所としての役割を終えると、高齢者の避難が難しいのではないか。

→ 廃校後の校舎の活用は統廃合そのものと並行して考える大事な事である。避難所等も含めしっかりと考えていく。

○ 5校が1つになった場合、校長や教頭など軸となる先生は引き続き着任するのか。新しい先生が入ると最初からになる。教育委員会は、その時の校長や教頭と一緒に考え、保護者や児童生徒の思いをしっかりと受け止めるような体制にして欲しい。

→ 教職員の人事については、新潟県の教育委員会の権限であるが、三条市教育委員会として、これまでただの郷学園で多くの創意工夫ある教育活動を支えて来られた校長先生や教職員の皆様から、可能な限り引き続き在任していただけるよう、県教育委員会に強く要望する。

○ 適正規模・適正配置に関する基本方針で、「各学年2学級が望ましい」としている理由は何か。また、平成27年から変わっているのか。

→ 「各学年2学級が望ましい」としている理由はクラス替えが出来ることが最も大きい。この基本方針は平成27年から改正していない。

○ 統廃合と合わせて、小中一貫校の建設も含めて検討を進めるのか。

→ 今段階でも、ただの郷学園は分離型として小中一貫教育を進めている。小中一貫校の新校舎を建てることは、財政的な負担や、今後まだ少子化が進む事を考えると難しい。

○ 統合しても、またすぐに1学級になるのが見えている。1学年の人数を10人や20人に維持できる施策の方が良いと思う。

→ 資料5ページの合計が、下田地域の小学生の人数の合計である。学年によってばらつきがあるだろうが、例えば令和15年が149人であり6学年で割ると1学年25人程度で、すぐに複式学級にはならないと思う。あくまで人数は推

計であり、人数の減りになるべく少なくするまちづくりを進めていきたい。

○ 三条市教育委員会の今回の提案は、何年先を見て計画したのか。令和7年は下田地域の小学生全体で300人程度で、6学年で割って1学年50人、1クラス25人となる。同じように考えると、令和17年は全体で127人であるため、6で割って1学年20人、そうすると1クラス10人程度となる。三条市全体で考えないのか。下田地域だけで統合してもまた繰り返しになる。

→ 適正規模・適正配置に関する基本方針で、「各学年2学級が望ましい」とあるが、2クラスが望ましいとはいえ、たとえば1学年20人の場合には、1クラス10人で2クラス設置するということではない。令和17年は6学年で資料上は127人であり、それを6で割ると1学年約20人である。それをさらに2クラスに分けてということはない。35人を超えると2クラスとなる。下田の地域を三条地域・栄地域にまたぐ形での小学校の統廃合はでは考えていない。

○ 下田地域だけではなく、三条市全体で考えてはどうかと考えている。また、長岡市や新潟市の学校に行きたいという子どももいるだろう。下田地域の子ども達は統合後の一つの学校しか通い先の選択肢がないのか。

→ 小中学校は定められた学区に進学しなければならず、自治体で学区を定めているが、教育委員会に申請すれば、事情により学区や区域外（市外）に進学することもできる。下田地域に住む小学生は統合後の学校に通うことを縛るものではない。

○ 大崎学園など、もっと子どもの多い学校に行きたいという事は認めるのか。

→ 学区外通学の条件があり、その条件を満たせば別の学区へ行くことは既に可能である。教育委員会で判断し、柔軟に判断している。逆に、三条地域の子どもが下田地域の学校に通う事も可能である。

○ その条件は提示されているのか。

→ 提示されている。例えば、学区の学校にやりたい部活がないなどが挙げられる。また、保育園で中の良い友達と一緒にの学校の方が心身が安定する等、個別の判断もできる。

→ 現時点で既に学区外通学はあり、これと今回の統廃合の話は別と考えてい

る。学区外通学の要件は、今回の統廃合準備委員会の検討内容ではないと考えている。

○ 地域おこし協力隊として、実際に下田地域の学校の子どもと話をしている。もっと外に出て良いなと思うくらい下田地域が好きな子どもがいる。統廃合により、地域が好きな気持ちが薄まらないような教育をしてほしい

→ 資料7ページのとおり、どのような学校行事をしていくのか、それが子ども達の地域への愛に繋がるのかは統廃合準備委員会で議論していく。しかし、全てが統廃合準備委員会で決まるわけではない。どうやって地域の様々なことを子ども達に伝えていくのかは、地域の皆さんと一緒に考えていきたい。

○ 長沢小に来ていただき、丁寧に答えていただき感謝する。全ては子どものためにとの事は全く同感である。保護者としては今後もその考えを基に進めて欲しい。令和10年4月は子どもにとって大きな環境の変化となる。ぜひ、子どものケアを検討に含めてほしい。保護者や地域にとっても子どもは宝である。通学方法等、非常に気になるので、検討途中で我々に見えやすい方法で周知をしてほしい。令和10年4月に向けて、丁寧な姿勢は保って、保護者や地域の意見を聴いてほしい。

→ 進め方はご指摘のとおり丁寧に進める。これから環境が変わる中で適応が困難な子どもが出てくる。未来の学校検討委員会でもそのことについて議論があり、提言書にも記載があるのでしっかり進めていく。

20：23 終了（参加者 57人）